

北陸建工グループ 滑川市の屋内運動場 創業60周年で建設支援



建設を支援した屋
内運動場

北陸建工グループは「滑川市スポーツ・健康の森公園」(同市柳原)の隣接地でもまなく完成する屋内運動場(愛称・KENKO DOME)の建設を支援した。

同グループが昨年、創業60周年を迎えたのを機に「60周年創業者・窪田信康記念事業」の一環として支援した。先月12日に滑川市役所で行われた寄付贈呈式では、酒井社長から上田昌孝市長へ寄付目録が手渡された。

新しい屋内運動場は

鉄骨造平屋建てで、延べ床面積約1300平方メートルの規模。建屋はJFEシビルのシステム建築「メタルビル」を採用し、佐藤工業が施工。部材となるビルトHやスプライスプレートはグループの北陸熔断が加工し、鉄骨製作は北陸建工が担当した。

形(ダイヤモンド)を確保した土のグラウンドで、スパイクを履いての練習が可能。野球のほかサッカーやペタリンクなどの練習にも使用できる。

酒井社長は「当グループの60周年と、滑川で設立した北陸建工も40周年の節目を迎え、育ててもらった地域に培ってきた技術で恩返ししたいという創業者の意思を引き継いだ」と話した。
28日に竣工式が行われる。同日は完成記念イベントとして元プロ野球選手の仁志敏久氏を講師に招き、少年野球教室と講演会が開催される。